

教科	数学	単元名	時刻と時間
----	----	-----	-------

## 本時のねらい

時刻や時間を求める計算を自分で判断してできるようになる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・課題プリントを実施後、自分の苦手部分を振り返り、教師が補助をしながらオンライン学習サービス(e ライブラリ)を活用し、自分で課題を設定して学習に取り組むことで、自分から学習に取り組む姿勢を養い、家庭での学習に結び付け定着を図る。
- ・オンライン学習サービスによって、課題の達成や苦手な問題・その間違え方が記録され、苦手な部分や間違えた課題を客観的に把握できる。また自分で答え合わせや反復練習を行うことができるので、きめ細かく個別最適な学習を実施することができる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・オンライン学習サービス (e ライブラリアドバンス)

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○前時の学習内容・課題の確認する。本時は、今までに学習した時刻の計算を活用して、集合時間やかかった時間の計算できるようになるという本時の課題を確認する。  【写真1】	○オンライン学習サービスを活用することで授業開始前に課題の達成や理解度を確認できるので、本時の学習に集中できる。また、前時の学習が未定着であった場合もつまずきがピンポイントで把握できる。必要に応じて、具体物を活用する。
展開 (40分)	○課題プリント。文章を読みながら、集合時間やかかった時間を求めるためにはどのような計算をしたらいいのか考える。教師が補助説明する。 ○具体物を操作しながら、計算の手順を振り返る。 ○本時の学習で計算等つまずいたポイントを振り返り、自分が苦手だと思ったことやもっと学習したい内容を、自ら選んでタブレットを使って学習する。  【写真2】	○自分で学習を選ぶ活動を取り入れることで、自分で必要な学習を考え、実行する習慣づけを図る。つまずきの克服に適した問題を選択できるように助言・指導する。
まとめ (5分)	○本時の学習を振り返り、今日家庭学習で取り組む問題を確認する。  【写真3】	○家庭でも、自分に必要な学習を自分で考えて、学習するよう習慣づけにつなげる。

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】 オンライン学習サービスの家庭学習の結果画面で家庭学習課題を確認している様子。



【写真2】 デジタル教科書の画面で教師が補助説明をしている様子。



【写真3】 苦手な問題をオンライン学習サービスで選び、自分で学習している様子。

## 児童生徒の反応や変容

- ・生徒が自身で学習を選択し、納得して必要な課題を設定することで家庭での学習をする習慣づけをできた。また、家庭での課題を達成した後は生徒が自信をもって報告してくることも増えている。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・授業内ではタブレット端末・オンライン学習サービスの利用は必要最小限で、家庭学習の課題設定程度であるが、活用することで家庭学習の習慣化や授業準備の効率化に活用できている。
- ・支援学級での学習のため、時間によっては学習の進捗が異なる複数の生徒と学習することも多い。ICT を活用していない場合には学習プリント等を活用して個別の学習を行っても、指導の目が届かない時間もあったが、オンライン学習サービスを利用すると、学習できていないところや復習するところを指示してくれるので、指導が細かくできるようになった。学習の進捗がことなる複数の生徒を指導する際には積極的に活用していきたい。